

ACS 5.x : AD のグループ メンバーシップに基づく TACACS+ 認証およびコマンド認可の設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[認証 および 権限のための設定 ACS 5.x](#)

[認証 および 権限のための Cisco IOSデバイスを設定して下さい](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

概要

この資料はユーザの AD 団体会員に基づいて Cisco Secure Access Control System (ACS) 5.x およびそれ以降で TACACS+ 認証およびコマンド許可を設定する例を提供したものです。ACS は外部 ID ストアとしてユーザ、マシン、グループ、および属性を保存するために Microsoft Active Directory (AD) を使用します。

前提条件

要件

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- ACS 5.x は望ましい AD ドメインに十分に統合。ACS が望ましい AD ドメインと統合場合、[ACS 5.x およびそれ以降を参照して下さい](#)。詳細については [Microsoft Active Directory 設定例の統合](#) 統合 タスクを行うため。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Secure ACS 5.3
- Cisco IOS[®] ソフトウェア リリース 12.2(44)SE6。注: この設定はすべての Cisco IOSデバイスですることができます。

- Microsoft Windows Server 2003 ドメイン

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

認証 および 権限のための設定 ACS 5.x

認証 および 権限のための ACS 5.x の設定を始める前に、ACS は Microsoft AD と正常に統合する必要があります。ACS が望ましい AD ドメインと統合場合、[ACS 5.x およびそれ以降を参照して下](#)さい。詳細については [Microsoft Active Directory 設定例の統合](#) 統合 タスクを行うため。

このセクションでは、2 組の異なるコマンド セットに 2 つの AD グループおよび 2 つのシェルフ プロファイルを、1 および Cisco IOS デバイスの制限されたアクセスとのフル アクセスとの他マッピングします。

1. Admin 資格情報を使用して ACS GUI にログインして下さい。
2. 『Users』 を選択 すれば **識別は > 外部識別保存し、> アクティブ ディレクトリ 接続ステータスが接続される** ように表示されること ACS が望ましいドメインに加入したまたことを確認します **保存し。Groups タブを『Directory』 をクリック** して下さい。
3. [Select] をクリックします。
4. シェルフ プロファイルにマッピング される必要があり、設定のより遅い一部のセットを命じるグループを選択して下さい。[OK] をクリックします。
5. [Save Changes] をクリックします。
6. **アクセスポリシー > アクセスを保守し、> サービス セレクション ルール示します** TACACS+ 認証を処理するアクセス サービスを選択して下さい。この例では、それはデフォルト デバイ Admin です。
7. **アクセスポリシー > アクセスを保守し、> デフォルト デバイ Admin > 識別識別出典の隣で『SELECT』** をクリック します選択して下さい。
8. [AD1] を選択し、[OK] をクリックします。
9. [Save Changes] をクリックします。
10. **アクセスポリシー > アクセス サービス > デフォルト デバイ Admin > 許可を選択し、『Customize』** をクリック して下さい。
11. 次に **AD1:ExternalGroups** を利用可能からカスタマイズ状態の選択したセクションにコピーし、シェルフ プロファイルを移動し、利用可能からカスタマイズ結果の選択したセクションに**セットを命じて** 下さい。ここで、[OK] をクリックします。
12. 新しいルールを作成するには、[Create] をクリックします。
13. **AD1:ExternalGroups** 状態で『SELECT』 をクリック して下さい。
14. Cisco IOS デバイスでフルアクセスを提供したいと思うことグループを選択して下さい。[OK] をクリックします。
15. シェルフ Profile フィールドで『SELECT』 をクリック して下さい。
16. フル アクセス ユーザ向けの新しいシェルフ プロファイルを作成するために『Create』 をク

リックして下さい。

17. **General** タブの名前および **Description (optional)** を提供し、**コモン タスク タブ**をクリックして下さい。
18. **値 15** を用いるスタティックに**デフォルト特権**および**最大特権**を変更して下さい。[Submit] をクリックします。
19. この場合新しく作成された**フル アクセス シェル プロファイル** (この例の**全特権**) を選択し、『OK』 をクリックして下さい。
20. **コマンド セット フィールド**で『SELECT』 をクリックして下さい。
21. **フル アクセス ユーザ向けに設定される新しいコマンド**を作成するために『Create』 をクリックして下さい。
22. **名前**をつけ、**下記の表にない割り当ての隣のチェックボックスがあらゆるコマンド チェック**されるようにして下さい。[Submit] をクリックします。**注: コマンド セットに関する詳細については[デバイス 管理のための作成し、複写し、Editing コマンド セット](#)を参照して下さい。**
23. [OK] をクリックします。
24. [OK] をクリックします。これは **Rule-1** の設定を完了します。
25. **制限されたアクセス ユーザ向けの新しいルール**を作成するために『Create』 をクリックして下さい。
26. **AD1:ExternalGroups** を選択し、『SELECT』 をクリックして下さい。
27. **制限されたアクセスを**に提供し、『OK』 をクリックしたいと思うこと**グループ (または)**グループを選択して下さい。
28. **シェル Profile フィールド**で『SELECT』 をクリックして下さい。
29. **制限されたアクセスのための新しいシェル プロファイル**を作成するために『Create』 をクリックして下さい。
30. **General** タブの名前および **Description (optional)** を提供し、**コモン タスク タブ**をクリックして下さい。
31. **値 1** および **15** を用いるスタティックに**デフォルト特権**および**最大特権**をそれぞれ変更して下さい。[Submit] をクリックします。
32. [OK] をクリックします。
33. **コマンド セット フィールド**で『SELECT』 をクリックして下さい。
34. **制限されたアクセス グループのために設定される新しいコマンド**を作成するために『Create』 をクリックして下さい。
35. **名前**をつけ、**下記の表にない割り当ての隣のチェックボックスがあらゆるコマンド**選択されないようにして下さい。タイプの後で **show** コマンドだけ**制限されたアクセス グループ**のユーザ向けに許可されるように示し、**指揮 班**で提供される**スペース**で**選択します****グラント セクションの許可**を『Add』 をクリックして下さい。
36. 同様に **Add** の使用の**制限されたアクセス グループのユーザ**を可能にされる他のどの**コマンド**も追加して下さい。[Submit] をクリックします。**注: コマンド セットに関する詳細については[デバイス 管理のための作成し、複写し、Editing コマンド セット](#)を参照して下さい**
。
37. [OK] をクリックします。
38. [OK] をクリックします。
39. [Save Changes] をクリックします。
40. ACS の **AAA クライアント**として **Cisco IOSデバイス**を追加するために『Create』 をクリックして下さい。
41. **名前**を、**IP アドレス、共有秘密 TACACS+**につけ、『SUBMIT』 をクリックして下さい
。

[認証 および 権限のための Cisco IOSデバイスを設定して下さい](#)

認証 および 権限のための Cisco IOSデバイスおよび ACS を設定するためにこれらのステップを完了して下さい。

- ここに示されているように **username** コマンドでフォールバックのための完全な特権でローカルユーザを作成して下さい:`username admin privilege 15 password 0 cisco123!`
- ACS の IP アドレスを AAA を有効にし、TACACSサーバとして ACS 5.x を追加するために提供します。`aaa new-model`
`tacacs-server host 192.168.26.51 key cisco123`**注:** キーは共有されると-この Cisco IOSデバイスに ACS で提供されるシークレット 一致する必要があります。
- [次に示すように、aaa コマンドにより、TACACS サーバの到達可能性をテストします。](#)
`test aaa group tacacs+ user1 xxxxx legacy`
Attempting authentication test to server-group tacacs+ using tacacs+
User was successfully authenticated.**前のコマンドの出力では、TACACS サーバが到達可能であり、ユーザが正常に認証されたことを示しています。注:** User1 およびパスワード xxx は AD に属します。テストが失敗したように共有されるして下さい-前の手順で提供されるシークレットは正しいです。
- ログオンを設定し、認証を有効にし、次にここに示されているように Exec およびコマンド許可を使用して下さい:`aaa authentication login default group tacacs+ local`
`aaa authentication enable default group tacacs+ enable`
`aaa authorization exec default group tacacs+ local`
`aaa authorization commands 0 default group tacacs+ local`
`aaa authorization commands 1 default group tacacs+ local`
`aaa authorization commands 15 default group tacacs+ local`
`aaa authorization config-commands`**注:** それぞれ TACACSサーバが到達不能ならローカルおよび Enable キーワードは Cisco IOS ローカルユーザおよび enable secret へのフォールバックのために使用されます。

[確認](#)

認証 および 権限を確認するために Telnet によって Cisco IOSデバイスにログインして下さい。

- AD のフル アクセスグループに属する user1 として Cisco IOSデバイスに Telnet で接続して下さい。ネットワーク Admin グループは ACS で設定される マッピングされた全特権 シェルプロファイルおよびフル アクセス コマンドの AD のグループです。コマンドをフルアクセスがあることを確認するために実行することを試みて下さい。
- と同時に AD の制限されたアクセスグループに属する user2 が Cisco IOSデバイスに Telnet で接続します。(ネットワークメンテナンス チーム グループは ACS で設定される マッピングされた限られ特権 シェルプロファイルおよび示アクセス コマンドの) AD のグループです。設定される示アクセス コマンドで述べられる物以外コマンドを実行することを試みる場合 user2 に制限されたアクセスがあることを示す 得る必要があります。
- ACS GUI にログインし、**モニタリング**を起動させ、**ビューア**を報告します。AAAプロトコル > TACACS+Authorization を user1 および user2 によって実行された アクティビティを確認するために選択して下さい。

[関連情報](#)

- [Cisco Secure Access Control System](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)